



将来像  
3

## 安全・安心で、 尊い命を守る和歌山

地震・津波・風水害などの災害による「犠牲者ゼロ」をめざした防災対策を一層充実するとともに、住み慣れた地域で質の高い医療サービスが受けられ、犯罪や交通事故の少ない環境を整備することで、安心して暮らせる和歌山をめざします。

いのちを守る

- 風水害・土砂災害対策のためのソフト対策やハード整備を計画的に実施します。
- 救助・救済体制や医療機関等の災害対応体制をより一層強化します。
- ライフライン機能を確保するとともに、地域防災力の強化や避難所運営の質の向上を図ります。
- 県民生活の早期再建と地域のより良い復興のため、それぞれの地域があらかじめよく議論し、復旧・復興計画を事前に策定してお



### 自然災害への備え

- 住宅や大規模建築物、公共施設などの耐震化をより一層進めます。
- 津波避難困難地域の解消のためのソフト対策やハード整備を優先的・緊急的に実施します。



### 医療の充実と健康の維持

- 救急医療体制やへき地の医療体制を堅持します。
- がんによる死亡者を減らすとともに、患者ニーズの多様化に対応する先進的な医療を促進します。
- 地域医療構想に基づき、医療機関の機能分化と連携、病床機能の再編を図ります。
- 在宅医療の全県的なネットワークを構築します。

く取組を進めます。

### 主な目標

- 津波避難困難地域 解消
- 復旧・復興計画の事前策定 全市町村

### 安全な社会の実現

- 街頭防犯カメラ設置などの犯罪抑止対策や、徹底検挙に向けた捜査力・機動力の強化を進めます。
- 歩道整備や見やすくなりやすい道路標識の設置、啓発活動などにより、安全で快適な交通環境を実現します。



将来像  
2

## たくましい産業を創造する和歌山

多様でバランスのとれた産業構造を築き上げ、外的経済ショックにもしなやかに適応できる力を備え、各産業が積極的に海外へ進出するとともに、生産性・収益性を高めることで雇用を生みだし、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む新たな人の流れを創りだす和歌山をめざします。

しごとを創る

### 時代を先導するしなやかな産業構造の実現

- 全産業で革新的技術の導入や他分野との融合等を進め、国際競争力を強化するとともに、産業構造の多様化と雇用の場の拡大を図ります。

### 県内企業の成長力強化

- 新たな感性・アイデア等による技術開発やサービスの高付加価値化を図ります。
- 県産品のブランド力の強化や、海外市場等への進出を支援します。
- 創業・第二創業を促進するとともに、地域特性を生かした企業誘致を推進します。
- 高校生や大学生等の県内就職を促進するとともに、働く意欲のある人が能力を発揮できるように、企業の働き方改革や再就職を促進します。

### 主な目標

- 製造品出荷額等 3兆8,500億円 (2014年度:2兆9,950億円)
- 企業立地件数 200件(計画期間内の累計)
- 高校生の県内就職率 90%(2015年度:76%)
- 大学生等の年間Uターン就職者数 3,000人 (2015年度:2,300人)

### 農林水産業の振興

- 海外等への販路開拓を進めるとともに、安全・安心で機能性を備えた農畜産物の安定供給を図ります。
- ICTやロボットなどによる労働の省力化などを図るとともに、農家の法人化、企業参入を推進し、収益性の高い農業を実現します。



- 林業に適した場所と森林保全を行う場所を明確に区分する森林ゾーニングにより、施策の選択と集中を強化します。
- 漁業者・漁協の経営構造改革や、経営の多角化を図り、収益性の高い水産業を実現します。

### 主な目標

- 県産果実・果実加工品の年間輸出額 70億円(2015年度:4.3億円)
- 林業の年間素材生産量 300千m<sup>3</sup>(2015年度:181千m<sup>3</sup>)
- 漁業の複合経営グループ数 20グループ

### 観光の振興

- 観光客が好みに応じた感動や楽しみ、癒しを感じることが出来る多様な魅力に出合える観光地づくりを推進します。
- ターゲットに応じた多様な観光プランを提供します。
- 多言語案内表示の充実や円滑な交通アクセスの構築など、快適な観光空間を創造します。



### 主な目標

- 日帰り観光客 (2015年から年間3,300万人(約500万人増))
- 宿泊観光客 (2015年から年間770万人(約200万人増))
- 外国人宿泊客 (2015年から年間170万人(約130万人増))

### 時代の潮流を踏まえた産業の新しい発展

- データ・ICT等の利活用を促進し、産業の発展を図ります。
- 世界に広がる新しい市場に挑戦できる環境の整備や、グローバルに活躍する企業・人材の誘致などにより、県内産業の発展を図ります。

- 医師の地域偏在や特定診療科における医師不足を解消します。
- 地域住民相互のつながりを深め、心身の健康づくりに関する県民運動を全県的に展開します。

### 主な目標

- 医療施設従事医師数 3,200人
- (2014年度から約500人増)
- 健康寿命 男性75歳 女性78歳 (2013年度から3.5歳程度上昇)